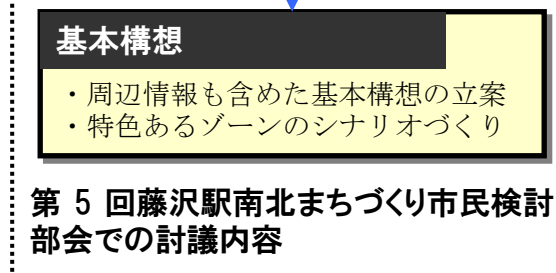
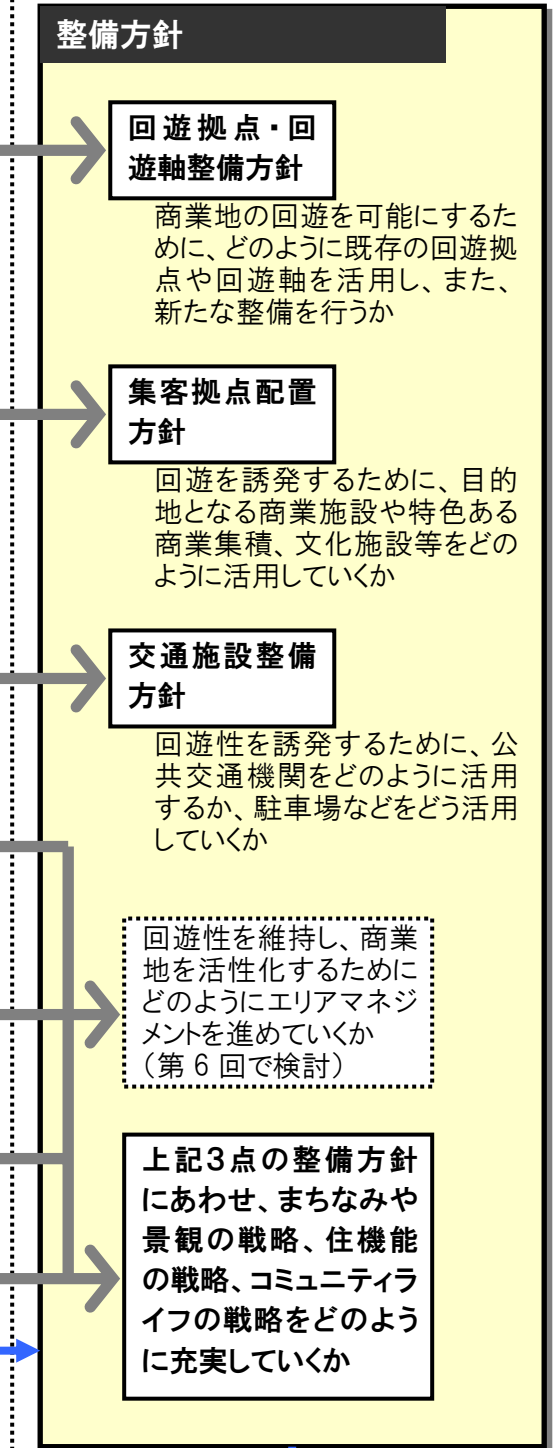
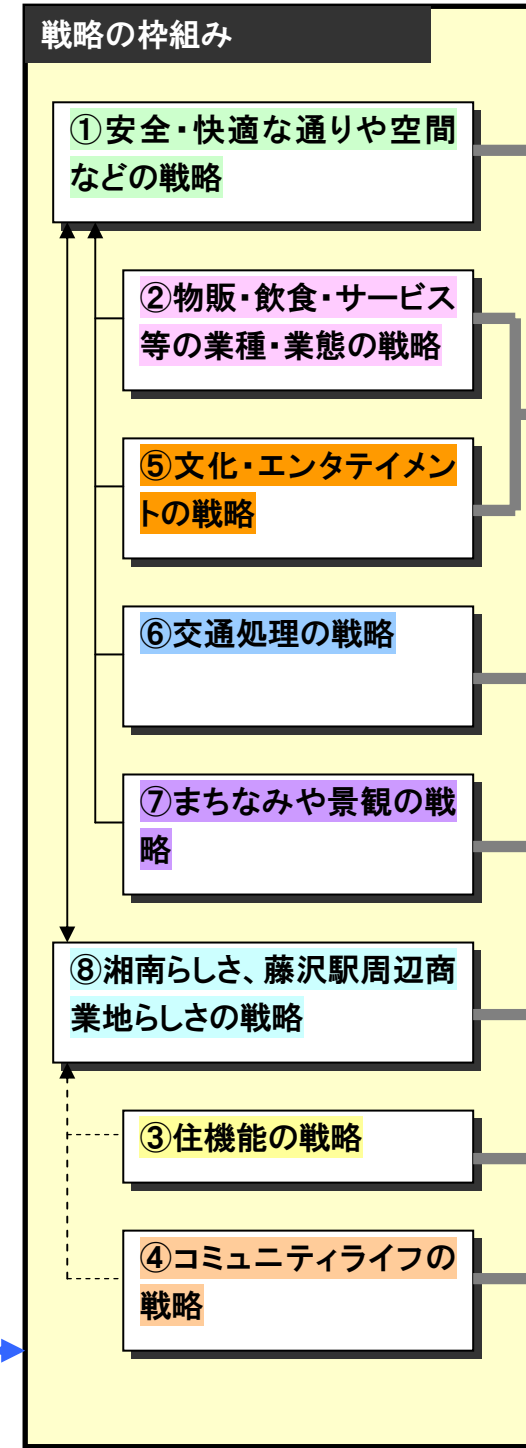
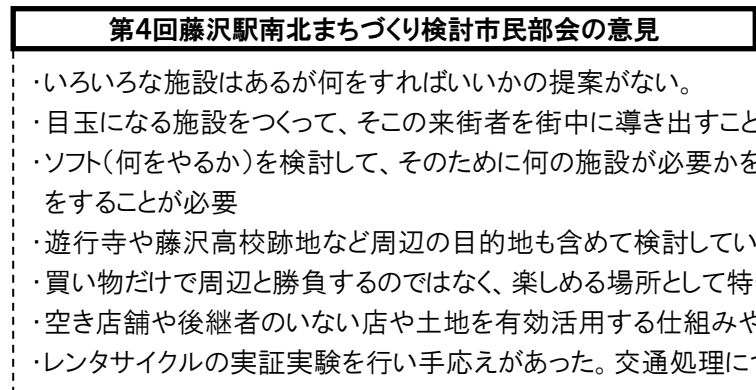
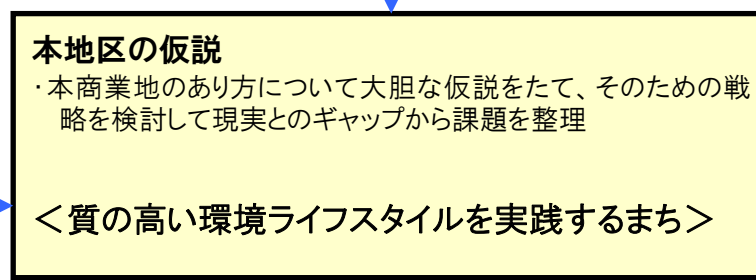
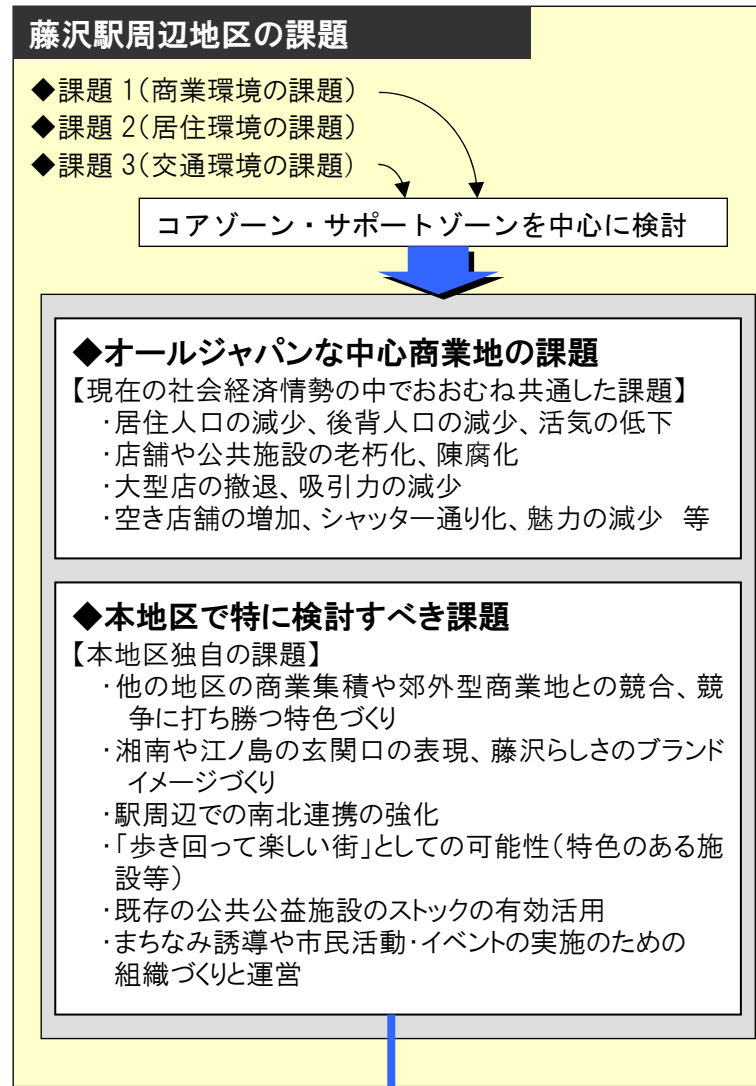
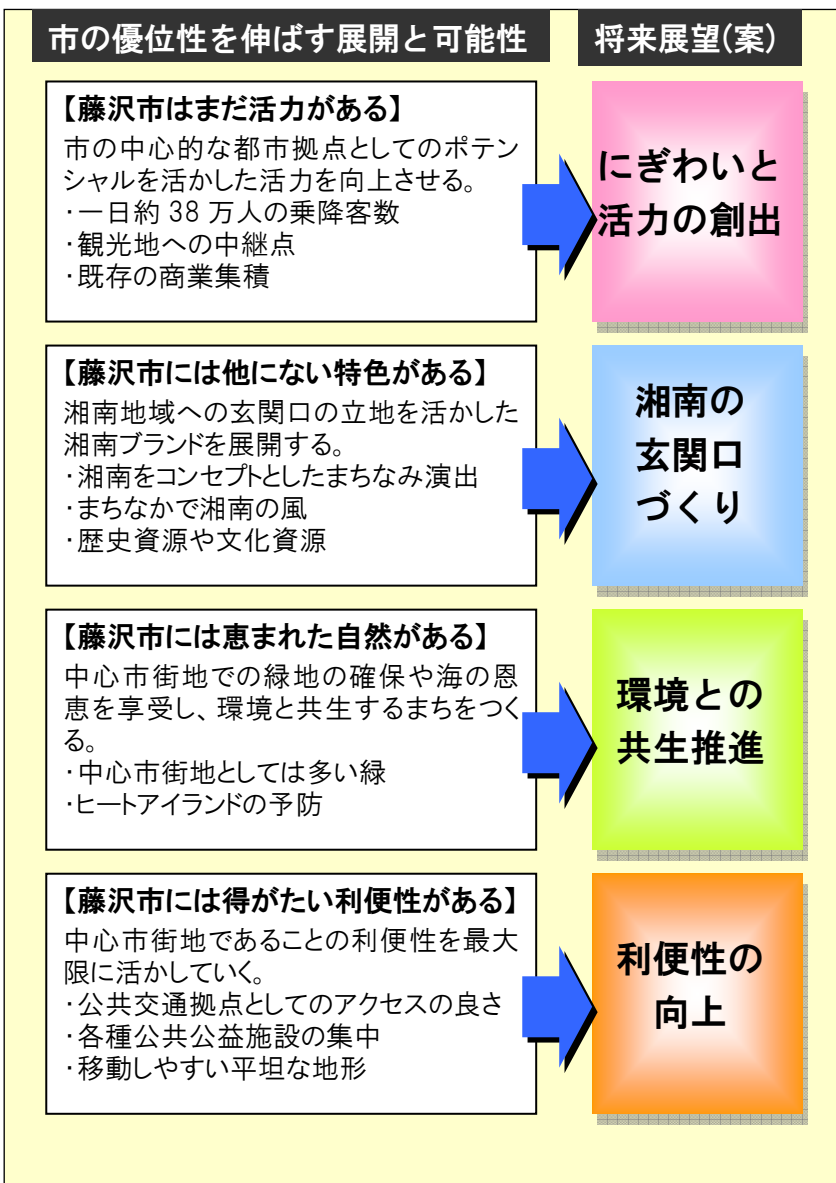
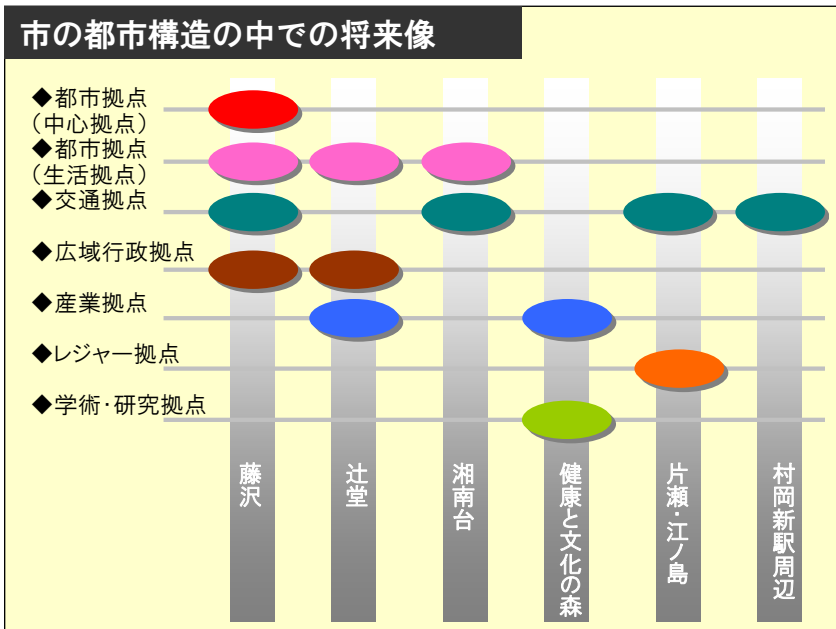

藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会 第5回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会

目指すべき将来像について

1. 検討の進め方
2. 構想検討のための整備方針の展開
3. 基本構想（案）の検討

2011年（平成23年）2月3日



戦略1 安全快適な通りや空間などの戦略

【ステージ・回遊軸の整備方針】

駅改札前ゾーン(インフォメーションステージ)の改善

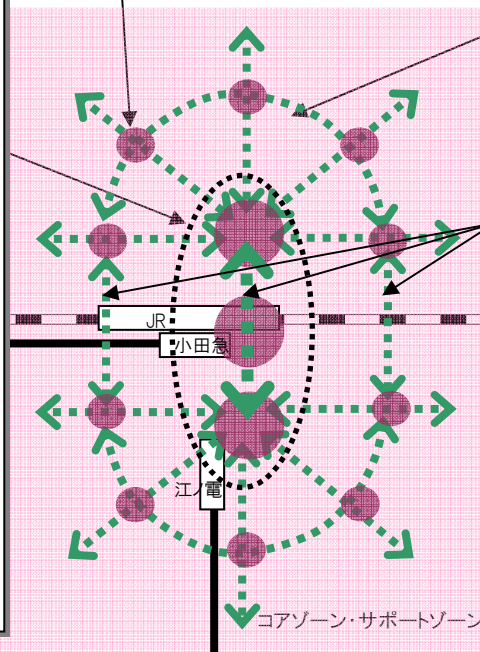
・各鉄道駅から本地区に最初に降り立つ場所に、鉄道側と協調しながら、イベント、展示、情報提供等を行えるゆとりある歩行者空間を配置することにより、来街者に本地区を印象づけ、回遊を誘導するステージとします。

南北回遊起点(メインステージ)の改善

・駅改札前ゾーンから発して、南北それぞれの地区の回遊を開始する場所にあるステージ(デッキ、駅前広場)を改善することにより、南北の一体感の醸成、交通結節機能の改善、回遊の動機付けを行います。

まちなかステージの創出

・ビルの建替え時のセミパブリックスペースの活用、セットバックなどにより、まちなかに歩行者が寛ぎ、交流できるステージをつくります。



回遊軸の改善

・各ステージを連携し、安全・快適に回遊が行える歩行者・自転車軸を、既存の歩道空間や民地のセットバック空間などを活用して充実していきます。

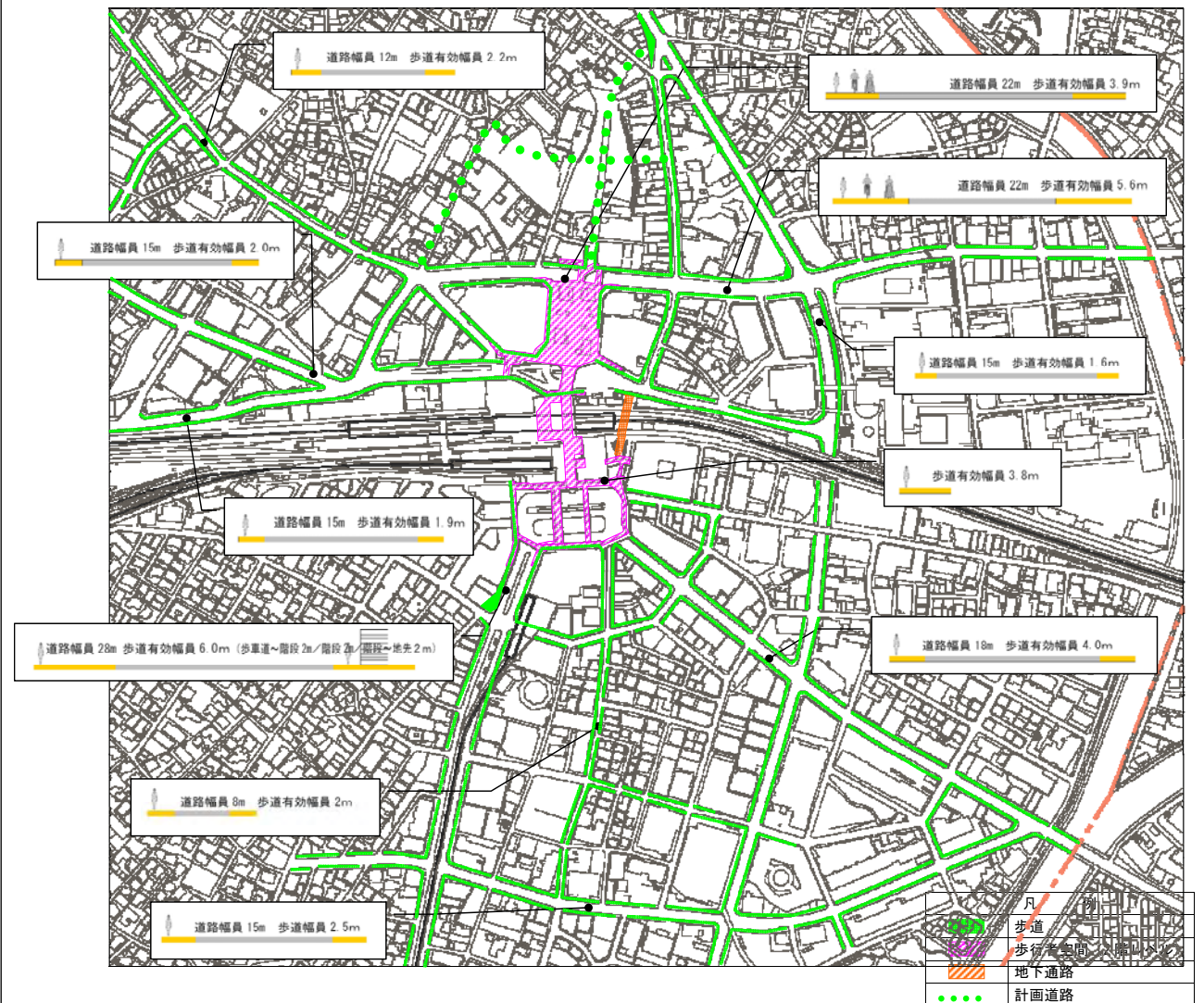
南北動線の改善

・現在の南北動線(デッキレベル、地下レベル)は、老朽化、きつい勾配、昇降機の少なさが問題であるとともに、コンコースでの歩行者交通の錯綜などにより混雑しています。
・南北動線のバリアフリーの改善による快適性向上、ネットワークの充実等により流動性の向上を図ります。

■まちなかステージとなりうる民有地空間例

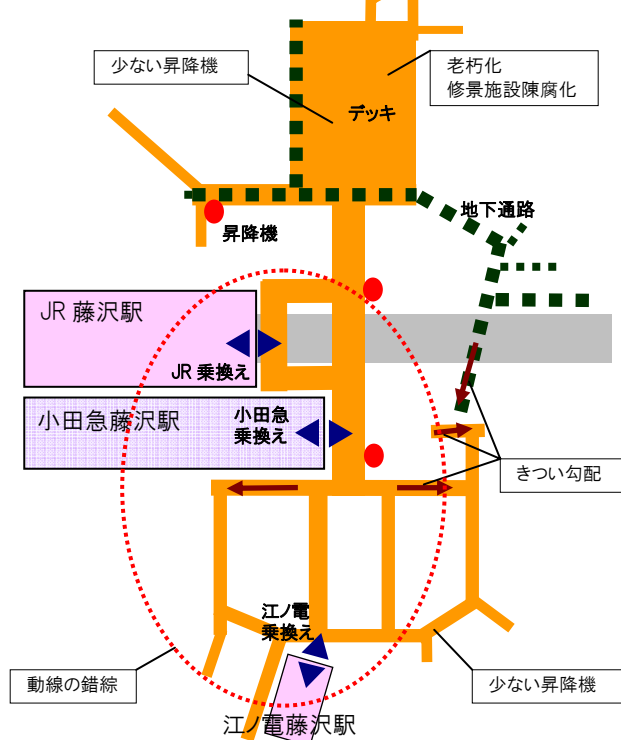


■回遊軸となりうる既存歩行者ネットワーク



■駅周辺の歩行者空間改善の方向性(案)

現在の南北動線の状況



北口メインステージの改善

インフォメーションステージの改善

JR 藤沢駅

小田急藤沢駅

南口メインステージの改善

江ノ電藤沢駅

昇降機の充実

動線の改善・充実
バリアフリー化の推進